

●日本・オランダ現代美術交流展
「3分間の沈黙のため
に……人・自然・テ
クノロジーの新たな
対話」

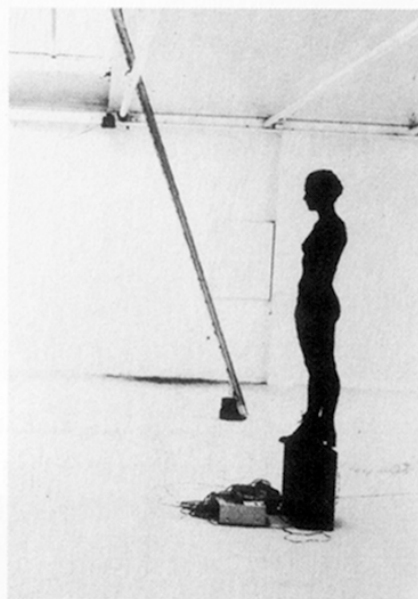
4月15日～5月6日

小伝馬町・十思スクエア（3階全館）

問い合わせ ☎03-3861-2581（同展実行委員会）



水留周二 「ベビーの環境」(参考)

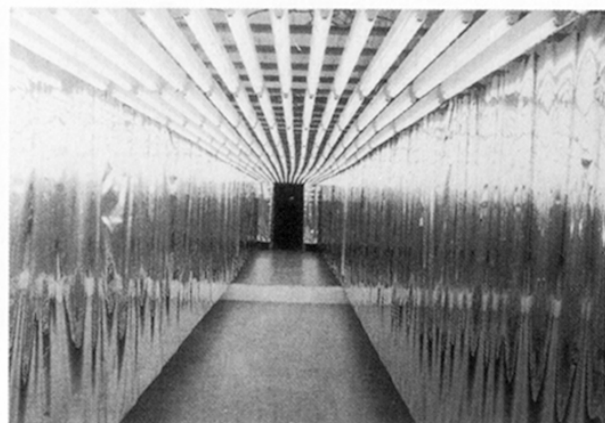


アネット・ファン・デ・エルゼン パフォーマンス風景(参考)

1991年に発足したICAIEEは、芸術の国際交流を目的とした非営利の活動組織。96年にオランダのヘット・アポロハウスと共同開催した「日本・オランダ現代美術交流展」根の回復として用意された12の環境が話題になった。今回はその2回目。

テーマは、人・自然・テクノロジーの調和とは何か」という、現代社会がこれからも考えなければならぬこと。日本とオランダから11組のアーティストがそれぞれにテーマをもとに作品を発表。その内容は、インスタレーション、パフォーマンス、コンサートなど幅広い。知覚・感覚を刺激する作品が多く。映像・写真・コンピュータが使われたものも多いだろう。ちなみに日本からの参加アーティストは、有地左右一十、笹岡敬、佐藤時啓、小杉美穂子十安

藤泰彦、浜田剛爾、水留周二。会場となるのは美術館でなく、旧校舎。場と作品との関わりも見所に



ロブ・モーネン 「overexposed」(参考)



会場外観

なる。シンポジウム(21日)、パフォーマンス(22日・29日)の詳細は、同展実行委員会まで。入場無料。